



ヒルズ はねっこアリーナ

(大河原町総合体育館)

大規模改修基本方針



令和7年 11 月

大河原町スポーツまちづくり推進課

1. 大規模改修の背景

大河原町総合体育館（以下「総合体育館」という。）は、仙南地区有数の規模を誇るメインアリーナに加え、柔剣道場やトレーニングルーム等も備えたスポーツ施設です。平成6年のオープン以降、町民が様々なスポーツに親しむ場として、また、休日等は各種競技大会の会場としても利用されるなど、本町が推進する「スポーツの力を活用した Well-being なまちづくり」における重要な拠点となっています。令和6年度からはVリーグ女子「リガーレ仙台」のホームゲーム会場としても使用されるなど、活用の機会がますます広がりつつあります。

また、災害時における指定避難所や選挙の際の投開票所、各種健診の会場など、スポーツ以外の用途においても幅広く活用されています。



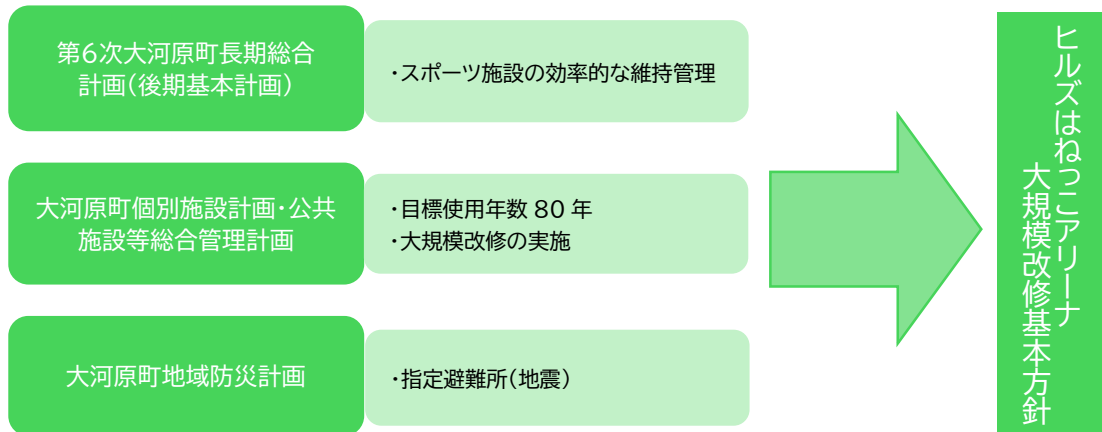
しかしながら、オープンから30年以上が経過し、各種設備をはじめとする施設全体の老朽化が進んでいるほか、アリーナや柔剣道場には空調設備もなく、特に近年の夏季における高温への対策が喫緊の課題となっています。

このようななか、施設を長く使い続け、また、利用者にとってはより利便性が高く、更に、防災上の拠点としても機能する施設とするため、大河原町個別施設計画や大河原町公共施設総合管理計画も踏まえ、総合体育館の大規模改修を実施することとします。

2. 基本方針策定の目的

老朽化が進んだ総合体育館の大規模改修を行うための基本設計及び実施設計における基本的な方向性を定めることにより、施設の利便性向上、長寿命化及び本町における「スポーツの力を活用した Well-being なまちづくり」の推進を図るものです。

3. 本方針の位置付け



4. 施設の概要(現況)

所在地	宮城県柴田郡大河原町字小島1番地7	
概要	敷地面積	16,013㎡
	構造・規模	鉄筋コンクリート造2階建
	建築面積	4,358㎡
	延床面積	5,393㎡
	天井高	17.95m
主な施設	アリーナ	1,530㎡(観客席591席) (バスケットボール2面・バレーボール3面・バドミントン8面・テニス2面・卓球15台)
	柔剣道場	428㎡(柔道1面・剣道1面)
その他施設	トレーニングルーム・会議室・研修室・事務室・幼児室・役員放送室・医務室・和室・書庫・談話コーナー・更衣室・シャワー室・エレベーター	



5. 施設利用状況

(1) 各室年間利用者数

室名	令和元年度	令和6年度
アリーナ	53,072	53,248
柔道場	4,039	3,173
剣道場	4,559	1,248
トレーニングルーム	5,771	8,248
研修室・会議室・放送室	6,954	6,537
利用者数計	74,395	72,454

(2) 令和6年度に総合体育館で開催された主な大会・イベント

月	大会・イベント名
4	大河原町体育協会長杯中学生バレーボール大河原大会
5	県高体連バドミントン大会、大河原地区中体連バドミントン大会
6	バドミントン協会県南支部小学生選手権
7	町民レクリエーション大会
8	全日本卓球選手権ジュニアの部仙南地区予選
9	秀錬会硬式空手道大会、おおがわらスポーツフェスティバル、大河原地区中体連バドミントン新人大会
10	県高体連バドミントン新人大会、県高体連卓球新人大会、市町村職員バレーボール大会
11	宝くじスポーツフェア はつらつママさんバレーボール in おおがわら、はねっこアリーナオープンラージボール卓球大会、ビニールボール三町交流大会
12	V. LEAGUE WOMEN2024-25 リガーレ仙台 vs J A ぎふリオレーナ
1	町民卓球大会
2	V. LEAGUE WOMEN2024-25 リガーレ仙台 vs カノアラウレアーズ福岡、大河原地区スポーツ少年団交流大会
3	町民バドミントン大会

6. 施設老朽化の実態

令和4年度に実施した総合体育館の劣化調査の結果、下表のとおり広範囲に劣化が見られました。これら以外にも各種機器の故障や動作不良が多く発生しており、部品供給の終了等により修繕不可能なものもある状況です。



総合体育館劣化調査結果（令和4年度）

工種	部位	評価
建築工事	屋根・防水（アスファルト露出防水）	B
	〃（笠木）	C
	〃（トップライト）	C
	外壁（西面・東面）	C
	〃（タイル）	A
	〃（コンクリート打ち放し仕上げ）	A
	〃（アルミカーテンウォール）	C
	その他（電動ブラインド）	C
電気設備工事	高圧引込設備（高圧気中開閉器・高圧引込ケーブル）	B
	受変電設備（受電盤・高圧変圧器盤・高圧コンデンサ盤）	B
	受変電設備（変圧器（油入））	A
	電力蓄電・発電設備（非常用ディーゼル発電装置）	B
	〃（太陽光発電装置電池モジュール・パワーコンディショナー・蓄電池盤）	A
機械設備工事	受水槽	A
	加圧給水ポンプユニット	B
	給湯ボイラー（186kW・418kW）	B

※トップライトは令和5年度に、アルミカーテンウォールは令和6年度に、また、外壁（アリーナ西面のみ）は令和7年度にそれぞれ改修済み。

※劣化度評価について

目視及び設置（更新）経過年数等から、総合的に以下の基準で判定・評価したものです。

【建築】

評価	評価	評価基準
A	概ね良好	特に措置を要しないもの又は建物自体に問題はないが、施設の運営上で問題のあるもの
B	劣化が進行しており、放置すると機能低下又は寿命が縮まる	緊急性はないが、長寿命化の観点からは年次計画的に改修・改善すべきもの
C	劣化が進行しており、機能低下が発生している	緊急性はないが、中期（5年程度）で改修・改善すべきもの
D	危険・使用上支障がある	早急に対応する必要がある（安全上・機能上問題あり）

【設備】

評価	機能による評価	周期による評価
A	機能に支障はなく、概ね良好	更新周期に達していない
B	不具合が発生しつつも、安定的に機能している	更新周期を超過（更新周期の1.5倍以内）
C	不具合が発生し、安定的に機能していない	更新周期の1.5倍を超過している
D	人身に重大な危険を及ぼす箇所が認められ、早急な対応が必要	—

7. 改修に当たっての基本的な考え方

本町のスポーツ活動の拠点として、利用者の利便性の向上とともに、安心して運動・競技ができる環境整備を進めます。

改修に当たっては、将来の総合体育館のあり方や期待される役割、各種関連計画等の内容を踏まえ、次の6つを基本コンセプトとします。



- (1) 誰もが安全・安心・快適に利用できる体育館
 - ・年齢、性別、障害の有無などに関わらず、だれもが利用しやすい施設とします。
 - ・スポーツのほか、健康づくりの場として、子供から高齢者まで多くの町民が集い交流できる施設とします。
- (2) 各種大会・試合にも対応できる体育館
 - ・各種スポーツ大会・イベント及び競技の施設基準を考慮した施設とします。
- (3) 防災の拠点として機能する体育館
 - ・町地域防災計画における位置づけも踏まえ、災害時の大規模避難所としての機能にも配慮した施設とします。
- (4) 地球環境にやさしい体育館
 - ・省エネルギー機器・設備の導入を図り、環境にやさしく、ライフサイクルコストの低減が図れる施設とします。
 - ・維持管理がしやすい施設とします。
- (5) スポーツ以外の様々な用途に対応できる体育館
 - ・スポーツ以外の各種イベント・行事・事業等にも活用できる施設とします。
- (6) 施設利用者に寄り添った工程
 - ・大規模改修に伴い生じる施設内各室の利用できない期間を短縮する工程を検討します。



8. 主な施工計画

(1) 建築工事

アリーナ床の張替及び天井ブラインドの改修、外壁（押出成形セメント板・アリーナ西面を除く）及び屋上アスファルト露出防水の改修、観客席の増設の検討（バリアフリー対応席を含む）

(2) 電気設備工事

デジタル機器の導入、高圧引込設備・受変電設備及び非常用発電設備の更新、音響機器一式の更新

(3) 機械設備工事

空調設備の新設（メインアリーナ等）及び更新（既設箇所）、エレベーターの更新、給湯ボイラー機器の更新

(4) その他工事

その他施設の機能向上に資する工事

9. 事業スケジュール

事業内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
設 計					
工 事					

【改訂】

・令和8年3月 一部改訂

